



福井県労働者福祉協議会
<https://fukui-rofukukyo.com>



〈発行〉
福井県労働者福祉協議会
〒918-8231 福井市問屋町1丁目35番地
電話 (0776) 21-5929 / FAX (0776) 21-2252

〈編集〉
機関紙編集委員会
〈発行人〉
小林 一

福井県労福協第61回定期総会を開催する！

【すべての議案が満場一致で可決される】

福井県労福協 第61回定期総会が、5月22日(月)にユニオンプラザ福井で、代議員19名、役員17名、構成員総数36名の出席で開催されました。杉本副会長の開会の挨拶後、総会議長に平井武史代議員を選出。また、来賓には福井市商工労働部しごと支援課 課長 中嶋 靖利様、連合福井会長 矢野 義和様の2名の方からお祝いの挨拶を頂きました。2022年度一般活動報告、2022年度会計報告、2023年度活動方針補強(案)及び2023年度収支予算(案)等を提案し、すべての議案について満場一致で可決されました。

以下に2023年度活動方針補強の具体的内容を報告いたします。



平井武史 議長



横山会長 挨拶

＜横山会長挨拶抜粋＞

今日は1年間の活動の振り返り、そして新しい事業展開の思いを述べさせていただきます。私が労福協の役員に任命された時から訴えてきたことは、労働福祉事業団体から会費を頂いて、その大切な資金で、労福協は活動をしている。この支えていただいている労働福祉事業団体と働く皆さんとのつながりを、今まで以上に強くして、働く方への支援のため、この労働福祉事業団体を有効に利用して頂く事を、しっかりと伝えていくということである。今、皆さんにお配りしている各福祉事業団体のチラシがあるが、この内容を是非とも持ち帰っていただき、広く組合員の皆さんに説明をして利用を推進していただきたい。



労働福祉事業団体の商品については、「労働者割引や組合員優遇等があるのでぜひ利用してほしい」と組合員の皆様に申し上げている。また違う観点から話しをすれば、ローンを借りて返せなくなった方の実情を聞いてみると、高い金利のローン商品等を利用している方が、本当に多い事にびっくりする。なぜこんな高い金利商品に、働く方々が手を出してしまうのかと疑問を持ちながら、労働福祉事業団体である労働金庫の低利な商品をもっと知ってもらってれば、こんなことにはならないのではないかとつくづく思うところである。

また、こくみん共済coopは安い掛け金で、労働者の保障を行っている。利用が増えれば家計の負担が少なくなることをぜひ理解してもらいたい。

今年の事業計画の柱に、今まで説明したことも踏まえ、私たちを支える労働福祉事業団体を利用する価値を学習し、どうしてもっと働く方々とのつながりが強くなり、労働者の財産である労働福祉事業団体の利用が高まるのかという事を今年も追求して、労福協運動を広げていこうと考えているところである。福井県下で働く人たちにまずは、労働福祉事業団体をよく知ってもらうことから始め、安心して生活や働くことのできる社会を作り上げていきたいと考えている。

このような考え方で、今年度の活動方針も作り上げている。今日は色々な意見を頂きながら、更に良い活動方針補強にさせていただくことをお願いして挨拶とさせていただきます。

【来賓の皆様】



福井市商工労働部
しごと支援課
中嶋 靖利 課長



連合福井
矢野 義和 会長

<2023 年度の具体的な活動方針補強（概要）>

I. 労働者自主福祉運動と働く人を繋ぎ、労働福祉事業団体の強化・発展のために

1. 教育活動

（1）労働福祉事業団体の啓発および次代を担う人材育成のための研修会の開催

労働者福祉協議会および各労働福祉事業団体の理念・歴史講座に加えて、その理念に基づいた労働福祉事業団体の商品が私たち労働者に優遇された制度であることを具体的事例や金融・共済商品等を紹介しながら、生活に身近な内容となる研修会を企画する。

（2）ライフプランセミナーの開催

ライフプランセミナーを継続して行う。昨年初めて実施した会場参加とオンライン参加のハイブリッド開催が好評を得たため、本年も継続し、参加しやすい環境を整備する。

（3）（公財）福井県労働者福祉基金協会と連携した研修会の開催

昨年の講演で多くの方に好評だった、「相続」をテーマにした講演を本年も実施。今後も、参加者アンケート等を活かしてテーマ選定に努め、多くの方に参加いただけるよう検討する。

（4）組織単位の研修会との連携

福井県退職者連合の研修助成制度を継続して実施し、さらに、各組織単位で開催されるイベントや新入組合員研修等と連携し、労働福祉事業団体の PR と利用拡大に努める。

（5）福井県生涯現役促進地域連携事業の継承

生涯現役促進地域連携事業で蓄積した、連携実績を今後の事業展開に活かす。また、定年退職後の研修メニューなど、今後の取り組みの中で、事業の趣旨を継承する。

2. 労働福祉事業団体の連携強化

(1) 連合福井の各地域協議会や地区連絡会を活かした連携活動

チームろうふく活動を支援し、労働組合と労働福祉事業団体の連携強化により、地域での自主福祉活動を推進する。また、連合福井、地域協議会の協力を得て、産別、単組からの要望を聞き、労働福祉事業団体からの協力要請を行う。

(2) 「防災・減災フェア」の取り組み

県民の防災意識の向上を目的に「防災減災フェア」を本年も開催する。昨年実施した、参加型の体験コーナーを充実させるなど意義あるイベント開催に努める。

(3) 組織を活かした事業推進の向上

福井県労福協を構成する連合福井と各労働福祉事業団体の組織力と関係団体のネットワークを活かして、事業推進効果の向上を図る。

3. 広報活動

未組織労働者、非正規で働く労働者などに、労福協事業を広くアピールするため、報道関係に対する取材要請や、市町広報誌との連携、効果的な有料広告などに努める。

機関紙「ふくい労福だより」の発行は、内容の充実と、読者の拡大に努める。また、ホームページを適宜改善し、タイムリーな情報発信源とすることを目指す。

Ⅱ. 安心できる暮らしの実現に向けた働く人たちの セーフティネットの整備および未組織労働者を含めた すべての労働者の自主福祉運動の拡大

1. 多様化する生活環境に応じた労働福祉事業団体の取り組み支援

労働福祉事業団体の取り組みを支援する。北陸ろうきんの預金・融資拡大に対する組合員への積極的な働きかけ、こくみん共済coopの自家用車自賠責保険の推進、県民生協のフードバンク事業、労信協の事業譲渡に係る会員への説明などの取り組みを支援する。

2. こころ支えるネットワーク事業の推進（福井県補助事業）

職場で不安や困難を抱える方が増加傾向にある中、福井県内の勤労者や県民の方々にとって、心のよりどころとなるよう「働く人の心健やかサポート事業」を進める。

(1) メンタルケア・スペシャリスト(MCS)のフォローアップセミナー

フォローアップ研修や情報交換会の開催を行うことによって知識の向上、情報の共有化などにより、MCSとしてのレベルUPと職場での活動を支援する。

また、メンタルヘルスセミナー助成制度利用は、昨年新たに会員以外の県内企業の新入社員研修で活用頂いた。これらの実績をアピールし、さらなる利用拡大に努める。

(2) 取り組みの展開

本年も、MCS対象の研修会を公開講座に拡充する。開催内容は、ハイブリッド開催や、幅広い研修テーマに好評を得たことから、充実したセミナー開催に努める。

(3) 仕事でところが悩んだら 0120-556-291 (こころ - ふくい) の周知

県民に対してフリーダイヤルの周知として、チラシの配布やホームページへの掲載、テレビCM、ネット広告などによる周知を行う。電話での心の悩み相談だけでなく、相談員による企業等への出張訪問相談も受け付ける。

3. 働く悩みの解消と生活設計支援のための事業

(1) 労働相談業務事業 (福井県受託事業)

〔労使相談センター 丹南事務所・嶺南事務所〕

行政機関との連携を強化し、チラシ配布、ネット広告などを活用して周知拡大を図る。また、メールによる相談や電話予約による時間外 (夜間や休日) 対応を継続する。

〔過労死防止対策〕

連合福井や福井労働局、福井県労働政策課と連携し、街宣活動 (福井・丹南・嶺南) で啓発チラシの配布を行うなど、過労死防止対策の取り組みを継続する。

(2) ライフサポートセンター福井

「くらしの悩み相談窓口」として継続する。また、昨年自治体担当会議で集約した自治体相談窓口との連携を図り、相談者への対応を充実させる

(3) 県内の相談事業者との連携

県内各相談機関との連携は、昨年の福井県知事要請でも強く説明し、福井県とも調整を進めている。本年は、県主導による関係機関会議の開催を目指し、労福協からは積極的な参加と、各相談機関に対して継続的な情報交換会の開催を提案する。

4. 文化・スポーツ関係事業

(1) 第73回福井県勤労者美術展

(公財) 福井県労働者福祉基金協会と共催し、福井県労福協も経費の一部負担および事業運営に協力する。

(2) 家族ふれあい事業

連合福井の各地域協議会が実施する「家族ふれあい行事」の趣旨に賛同し、費用および労働福祉事業団体と連携した協力を行う。

(3) 文化公演活動

本年も県内で開催される催しの情報を収集し、各年代に対応した催しを選定する。なお、複数の催しから選択できるような仕組みを引き続き検討する。

(4) 福井県中央メーデーおよび各地域協議会メーデー

メーデーの意義を主体にした情宣や広報の発信について協力を行う。また、労働福祉事業団体のチラシを参加者に配布し、労働福祉事業団体のPRと利用拡大を図る。

Ⅲ. 関係団体との連携、協力をより深めるために

1. 福井県および県内市町自治体との連携

各労働福祉事業団体の円滑かつ効果的な運営に資する要望等を取りまとめ、福井県知事に対して要望書を提出するとともに、意見交換を実施する。

本年は、県内の各相談窓口が情報交換する連絡会等への参加に向け、福井県と連携して取り組む。また、昨年設置した自治体担当者会議を8月頃を目途に開催する。

2. 関係諸団体

福井県労福協の活動の推進上、福井県退職者連合や、ろうきん友の会などとの連携も、大切。さらに、福井県をはじめとする各自治体との連携、社会福祉活動での福井県社会福祉協議会などとの連携、福井弁護士会、福井県社会保険労務士会など各団体との連携により幅広い自主福祉事業の展開に繋いでいく。

3. 反貧困キャラバン

福井弁護士会、福井県司法書士会、その他関係する市民団体と連携し、反貧困キャラバン2023に参画し、集会や街宣行動を行う。また、貧困問題などについて福井県、福井市をはじめとして、各市町への要請行動にも参画する。

4. 連合福井寄付講座（福井県立大学）

「メンタルヘルス対策の重要性・福井県労福協の『こころ支えるネットワーク事業』とは？」と「労働者福祉協議会の取り組み」の2講座を担当。

昨年4月から施行された「成人年齢の引き下げにかかる注意点」について、本年も講義の中に盛り込み、若年層への周知を進める。

IV. 組織強化に向けて

1. 三役会議および幹事会

三役会議（偶数月）、幹事会（奇数月）を各々年6回の頻度で開催。三役会議は中期的観点での組織運営や、各種活動の方向性を検討。幹事会は活動の具現化と各組織への共有化を図る。

2. 中央労福協・中部労福協・北陸ブロック等への対応

中央及び中部労福協の機関会議や研修会に出席し、事業方針や内容の意義を確認する。またブロック各単協の取り組みを参考にし、福井県労福協の事業高位化を目指す。

3. その他の会議

必要に応じて事業団体TOP連絡会議および実務責任者会議等を開催し、各労働福祉事業団体の取り組みの共有化、およびサポートを行う。また、あり方検討委員会、適正化委員会等をとおして、活動方針の柱の一つに掲げた「社会情勢の不安定な時だからこそ、労働者福祉運動の大切さを訴える」取り組みをし、労働福祉事業団体離れの解消、さらなる連携と活用を進めるための具体的な対策を構築し、その効果を求めていく。

4. 新型コロナウイルス感染症への対応

本年5月から、新型コロナウイルスが感染症分類の5類に移行された。当面は、国、県の指示を注視するとともに、都度、各関係者との協議と会員の理解を得ながら順次制限の解除を進めていく。なお、リモート会議やハイブリッド講演会などの経験を活かすため、効果が高いと判断するものは継続して実施し、幅広い展開を図っていく。

●福祉事業団体の通常総会・評議員会が開催されました。

団体名	開催日	開催場所
福井県労働者信用基金協会	2023年6月21日	ユニオンプラザ福井
福井県労働福祉会館	2023年6月22日	ユニオンプラザ福井
福井県民生活協同組合	2023年6月22日	フェニックスプラザ
北陸労働金庫	2023年6月26日	石川県音楽堂（石川県金沢市）

●7月開催の通常総代会（代表者会議）

団体名	開催日	開催場所
こくみん共済 coop 福井推進本部	2023年7月28日	国際交流会館（福井市）

2023 年度 福井県労働者福祉協議会役員体制

役 職	氏 名	選出団体
会 長	矢 野 義 和	連合福井
副会長	横 山 龍 寛	北陸労働金庫
副会長	杉 本 眞 一	こくみん共済 coop
副会長	橋 岡 克 典	連合福井
事務局長	小 林 一	連合福井
事務局次長	宮 腰 寿 彦	員 外
幹 事	大 嶋 智	連合福井
幹 事	林 憲 治	連合福井
幹 事	勝 見 義 治	連合福井
幹 事	山 内 正 人	連合福井
幹 事	米 谷 寿 光	連合福井
幹 事	笹 山 佳 成	連合福井
幹 事	玉 川 忠 春	連合福井
幹 事	高 岸 英 史	北陸労働金庫
幹 事	広 辻 光 生	県民生協
幹 事	石 田 昌 秀	労信協
幹 事	齊 藤 重 範	連合福井退職者連合
幹 事	岡 本 光 央	連合福井
幹 事	嶋 崎 邦 彦	こくみん共済 coop

※福井県労協規約第11条にもとづき、会長・副会長は、幹事会において互選し決定いたしました。

（※2023 年 7 月 4 日現在）

活動報告

(1) 事業団体実務責任者会議を開催!!

2023年度の第1回事業団体実務責任者会議が7月5日(水)に開催しました。

この会議は、労働福祉事業団体、連合福井の実務責任者にご集っていただき、労福協の1年間の活動を協議・確認するものです。2023年度の年間活動では、隔月で開催される幹事会と三役会議、今年も10月に開催する「防災減災フェア」、例年11月に福井県内各地で実施している「ライフプランセミナー」、73回を迎える「福井県勤労者美術展」等も、支援団体と協力をしながら実施していくことになりました。さらに2022年度初めて行った「福井県自治体担当課長会議」の開催は、2023年度も継続して開催していくことが確認されました。今後は、イベントごとに、会員の皆様に随時ご案内いたしますので、ご参加ご協力をお願いします。

活動予定報告

(1) 家族で楽しく学ぶ 「防災減災フェア」を2023年度も開催!!

「防災減災フェア2023」を、2023年10月14日(土)10時からユニオンプラザ福井で今年も開催する事になりました。当日は親子が楽しく防災減災を学んでいただきたいことから、防災知識を遊び感覚で身につけてもらう体験型アクティビティを実施します。体と頭を動かしながら、体験していくことから楽しく学べるようになります。子供と一緒に体験をしてみてください。

またステージでは、元福井テレビアナウンサーで気象予報士 塩見 泰子氏による講演、福井東消防署の協力で、AEDの操作説明、人工呼吸の仕方などを行う予定です。さらに、屋外では水消火器による、消火体験なども行い、水害をバーチャルで体験できる防災VRも設置する予定です。このフェアをきっかけにして、防災減災に備える意識が高まればと考えています。



気象予報士
塩見 泰子 さん



新登場!

ろうきん住宅ローン

有担保

まるっと500α

【当初期間引下げ型】



住宅資金

【固定金利特約型】

2年
【最下限金利】
年

0.35%

【通常金利 年1.90%】

10年
【最下限金利】
年

0.80%

【通常金利 年2.35%】

保証料
0円



生活資金
【変動金利】

年1.50%

住宅資金にプラスして

クルマや家具・家電、教育費などの生活資金も
最高500万円までまるっとひとまとめ!

住宅資金 金利プラン	2年【固定金利特約型】	3年【固定金利特約型】	5年【固定金利特約型】	10年【固定金利特約型】
通常金利	年1.90%	年2.05%	年2.30%	年2.35%
取引項目 最大引下げ幅	マイナス 年▲1.25%			
当初期間 特別引下げ幅*	マイナス 年▲0.30%			
最下限金利	年0.35%	年0.50%	年0.75%	年0.80%

※特約期間終了後は、当初期間特別引下げ幅の適用はございません。
●上記金利は2023年5月1日現在適用中です。

取引項目
金利引下げ条件は
こちらから



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



人々が喜びをもって共生できる社会の実現のため
「LGBTQ・同性パートナー」の方々のための
住宅取得等に対してサポートしていきます。

北陸ろうきん

ご相談・お問い合わせは
北陸ろうきん

検索





こくみん共済 coop 公式アプリが できました。

いつでもどこでもアプリで便利に

生活に役立つコンテンツや便利な機能満載！
社会活動への参加やお役立ちコンテンツも！



こくみんLifeサポート

公式アプリでは保障選びのお手伝いから、組合員限定の特典まで、暮らしに役立つサービスを約18万種類を取りそろえた「こくみんLifeサポート」をご利用いただけます。



組合員特典価格等でもしもの
事前・事後や生活全般をサポート



一人一人に寄り添った
最適な保障設計をサポート



マイページが簡単に ご利用いただけます！

マイページは、普段忙しくて自分の時間がとれない方や、
時間にしばられたくない方などに最適な、組合員専用の
サービスです。

マイページでできること

便利！

- 共済の加入・変更手続き
- ご契約内容の確認
- 住所変更や口座変更など
- 共済金の請求
- 組合員価格による各種サービス利用など

公式キャラクター
ビットくん



アプリのインストール、
詳細はこちらをチェック！

こくみん共済 アプリ

【お問い合わせ】

こくみん共済 coop 福井推進本部 事業推進部

TEL: 0776-26-6187 (営業時間9:00~17:00、土日祝を除く)

こくみん共済
coop

中部統括本部

長野県労働者共済生活協同組合 富山県労働者共済生活協同組合 福井県労働者共済生活協同組合 岐阜県労働者共済生活協同組合
静岡県労働者共済生活協同組合 石川県労働者共済生活協同組合 愛知県労働者共済生活協同組合 三重県労働者共済生活協同組合

たすけあいから生まれた保障の生協です。

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

フードドライブと日用品(紙製品・洗剤)の 寄付にご協力ください!

“もったいない”を“ありがとう”に 1人でもできる社会貢献



集める

県民せいきょう
ハーツ(店舗)・きらめき

届ける



家庭・職場・学校など

ご家庭に眠っている
食品・紙製品・洗剤が
あればお持ちください

社会福祉協議会・
自立支援センター・
子ども食堂・福祉団体など

実施時期 ※営業時間内

9/4(月)～10(日)

※組合員さんからの声を受けて、期間を
1週間に延長しました。
また、一部日用品についても受け付けます。

受付場所

ハーツ10店舗 (コンビニハーツは除きます)
大野・勝山きらめき (福祉施設)

生活困窮の方や
子どもたちへ

2023年度は今後12月の
1回を予定しています。

日用品について

生理用品、紙製品(ティッシュペーパー・トイ
レットペーパー)、洗剤(食器用洗剤・洗濯用洗
剤・石けんなど)を対象に寄付を受け付けます。

寄付いただきたい食品

- お米(白米・玄米・アルファ米)※
- パスタ、素麺などの乾麺
- 缶詰・レトルト・インスタント食品
- 海苔・お茶漬け・ふりかけ
- 粉ミルク・離乳食・お菓子
- 調味料(醤油、食用油など) など

1ヵ月以上賞味期限が残っている
常温保存可能なもの

受付できない食品

- 賞味期限が1ヵ月を切っているもの
- 開封されているもの
- 生鮮食品(生肉・魚介類・生野菜)
- アルコール(みりん、料理酒除く)
- 医薬品・医薬部外品・サプリメント
- 介護食・医療食 **ごめんなさい...**

上記食品は、お持ちいただいたても
受取できません。
ご理解・ご協力をお願いいたします。

※お米(玄米)についてはお1人90kgまで、2021年産以降のお米とさせていただきます。
精米したお米については、精米後半年以内のお米とさせていただきます。

2023年6月は食品2,560点、お米55kg、生理用品140点、洗剤261点、紙製品112点をご寄付いただきました。

食品・お米は地域の社会福祉協議会や自立支援センター、子ども食堂など13団体に提供しました。

この間の取り組みをご覧ください▶



食品ロスとは?

日本では... 年間

523万トン

食品がまだ食べられるのに捨てられてしまうこと

廃棄される食品のうち
可食部分と考えられる量

事業系	家庭系
279万トン	244万トン

国民1人1日あたり
食品ロス量

約114g

茶碗約1杯分
のご飯の量に相当

(農林水産省 2021年推計データより)

毎日おにぎりを
1～2個捨てている
ことになるんだ...



【フードドライブ サポーター募集!】

集まった食品などの整理・点
検のお手伝いをしてくれる
ボランティアさんを募集し
ています。下記コールセンタ
ーまでお問い合わせください。

フードドライブ・フードバンクに
関するお問い合わせは

0120-016-165
(受付時間) 月～金/8:30～20:00 土曜日/9:00～17:00

県民せいきょう

お問い合わせ
No.002522

はたらく悩み ありませんか？

残業代が全く出ない
就業時間って何時間？

上司とうまくいっていない
毎日が憂鬱で
仕事に行けない

コロナの影響で
休んだのに
休業手当を出してくれない

1ヶ月に
休みが3日しかない

辞めたくても
辞めさせてくれない

はたらくことに関する
色々な悩みやお困りごと
ありませんか？



ひとりで悩まず、
お気軽に電話で
ご相談ください

はたらく事に関する事なんでもご相談ください。

ご相談料は
無料です！

まずは、お電話かメールにて

1. 下記電話番号にお電話、またはメールにてご相談ください。
2. 相談員が対応いたします。
3. 本人の希望または面談が必要な場合は来館していただきます。

はたらくことの悩みごと相談 福井県労使相談センター

丹南事務所 ☎0778-22-1006

Email soudan6029@cap.ocn.ne.jp

越前市中央2丁目5-36 越前市労働福祉会館1F

嶺南事務所 ☎0770-22-1015

Email soudan6029@sage.ocn.ne.jp

敦賀市呉竹町1-41-15 奥野ビル102号室

●相談時間 平日／9:00～17:00

※上記の時間外での面談希望の方はお電話もしくはメールにてご予約ください。

☎0120-154-052

<http://fukui-rofukukyo.com/about-consultation/>



※福井県の委託事業として行っているため無料でご相談いただけます。

第73回 福井県勤労者美術展 開催決定！



■会 期 令和5年12月7日(木)～12月10日(日)

搬 入 令和5年12月4日(月)

審 査 令和5年12月5日(火)

表彰式 令和5年12月10日(日)

搬 出 令和5年12月11日(月)

■会 場 福井県立美術館

作品
募集

- ・ 絵画部門
- ・ 書道部門
- ・ 写真部門

応募など詳しくは

福井県労働者
福祉基金協会



で検索！

を募集します。



労福協

ふくい労福だよりの中に答えがあるよ。よ～く読んでね！

お楽しみクイズ

▼「○」に数字や文字を入れてください▼

クイズの全問正解者の中から「抽選」で

10名様に2,000円分のマック(マクドナルド)カードをプレゼント！

皆様からたくさんのご応募を
お待ちしております。

Q1 5月22日に開催された、福井県労働者福祉協議会の定期総会は第何回でしたか？

A1 第○○回

Q2 北陸労働金庫の住宅ローン(新登場)の商品名は？

A2 ○○○○○○○○α(アルファ)

Q3 こくみん共済coopの公式○○○ができました。できたのは？

A3 公式○○○

Q4 福井県民生協では、フードドライブと日用品(紙製品・洗剤)の寄付の協力を求めています。その実施期間はいつ？

A4 2023年
9月○日(月)～○日(日)

Q5 日本の食品ロスの量は、年間○○○万トン？

A5 ○○○万トン(年間)

応募方法

①～⑤の回答と、「〒番号・住所・氏名・職場名・電話番号」を記入し、「官製はがき」で右記郵送または、「労福協eメール」で受け付けます。

※eメールアドレス rofukukyo@sunny.ocn.ne.jp
(QRコードから読み込みも可能です)



応募資格

福井県内在住または福井県内企業にお勤めの方

郵送先

〒918-8231 福井市問屋町1丁目35番地
福井県労働者福祉協議会 お楽しみクイズ係

応募締切

2023年8月31日(木) 必着

当選者発表

当選者への発送をもってかえさせていただきます。